

プロチアデン錠 25

【この薬は？】

販売名	プロチアデン錠 25 PROTHIADEN
一般名	ドスレピン塩酸塩 Dosulepin Hydrochloride
含有量 (1錠中)	25mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、三環系抗うつ剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、飲みはじめてすぐには抗うつ効果はあらわれないことがありますが、飲み続けると、脳内に作用し、脳内の神経伝達を改善し、抑うつ気分を和らげます。
- ・ 次の病気の人に処方されます。
うつ病及びうつ状態
- ・ この薬は、体調が良くなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、吐き気・頭痛・倦怠感(けんたいかん)などの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 閉塞隅角緑内障の人
- ・ 過去に三環系抗うつ剤で過敏症のあった人

- ・心筋梗塞の回復初期の人
 - ・前立腺疾患などで尿が出ない人
 - ・モノアミン酸化酵素阻害剤を使用している人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
- ・尿が出にくい人
 - ・開放隅角緑内障の人、または眼内圧が高い人
 - ・心不全・心筋梗塞・狭心症・不整脈（発作性頻拍・刺激伝導障害など）など心臓に障害のある人、または甲状腺機能亢進（こうしん）症の人
 - ・てんかんなどのけいれん性疾患がある人、または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
 - ・躁（そう）うつ病の人
 - ・脳に器質的な障害がある人、または統合失調症になる可能性がある人
 - ・衝動的な行動を起こしやすい病気にかかっている人
 - ・死にたいと強く思ったり考えたことがある人
 - ・肝臓や腎臓に重篤な障害がある人
 - ・高齢の人
 - ・小児
- この薬には併用してはいけない薬（モノアミン酸化酵素阻害剤）や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 24歳以下の人が抗うつ剤を飲んだ場合、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。24歳以下でこの薬を使う人は医師と十分に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

一日量	3～6錠
飲む回数	1日2～3回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分をお飲みください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気・注意力・集中力・反射運動能力の低下などの症状がおこることがあるの
で、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を
飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死
にたいと思うなど症状が悪くなることがあるので、このような症状があらわれ
た場合は、医師に相談してください。
- ・不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態に
なる、易刺激性（ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来すこと）、敵意
を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、
などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、
医師に相談してください。この薬との関連性は明らかではありませんが、これ
らの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が
悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたり
する場合があります。
- ・ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、
易刺激性などの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともとある病気の
症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患
者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡し
てください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、
ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- ・この薬は、飲むのを中止したり、量を減らした場合に、吐き気・頭痛・倦怠感
（けんたいかん）、易刺激性、情動不安、睡眠障害などの症状があらわれること
があります。そのため、この薬の使用を中止する場合には、時間をかけて少しづ
つ量を減らしてゆきます。医師の指示どおりに使用してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を
飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しまし
た。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のう
ち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このよう
な場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群（Syndrome malin） あくせいしょうこうぐん（シンド ロームマリン）	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこ わばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、 脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する

重大な副作用	主な自覚症状
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (S I A D H) こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん (エスアイエイディーエイチ)	けいれん、意識の低下、意識の消失、吐き気、食欲不振

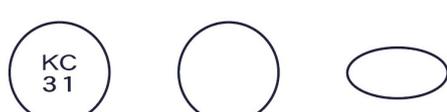
同類薬（他の三環系抗うつ剤）であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐（おうと）、お腹が張る

以上の自覚症状を、副作用のあられる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、突然の高熱、汗をかく、体のこわばり、けいれん、寒気
頭部	ぼーっとする、意識の低下、意識の消失
口や喉	話しぶらい、よだれが出る、飲み込みにくい、吐き気、喉の痛み、嘔吐（おうと）
胸部	呼吸数が増える
腹部	食欲不振、お腹が張る
手・足	手足のふるえ、脈が速くなる
便	便やおならが出にくい
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

	円形の錠剤
形状	
直径	7.4mm
厚さ	4.0mm
重さ	155mg
色	淡桃色
識別コード	K C 3 1

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ドスレピン塩酸塩
添加物	結晶セルロース、ヒドロキシプロピルスターチ、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、硬化油、カルメロースナトリウム、精製白糖、ゼラチン、D-ソルビトール、タルク、マクロゴール6000、硫酸カルシウム、黄色5号、赤色106号、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：科研製薬株式会社（<http://www.kaken.co.jp/>）

医薬品情報サービス室

電話番号：0120-519-874

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）